

特集

CE必見！ キャリア選択の道しるべ



編集責任

自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学部

百瀬直樹 *MOMOSE, Naoki*

臨床工学技士は病院やクリニックで働く人が大多数で、業務内容は血液浄化、循環器治療、体外循環、補助循環、人工呼吸管理、医療機器管理など、非常に幅広い。それらの仕事は本誌で特集が組まれ、詳細に解説してきている。筆者は病院に籍を置き、先にあげたそれぞれの業務にかかわってきたが、同時に医療機器安全管理責任者、海外の病院の視察、養成校の非常勤講師、書籍の執筆や本誌の企画、そして企業の開発者と連携して医療機器や福祉機器の開発にも携わってきた。それらの経験から、臨床工学技士は国内の病院勤務のみに縛られず、広い視野をもって仕事を選んでもよいのではないかと思っていた。

本誌では毎号『CE図鑑』という連載で、臨床工学技士の多様な働き方を紹介してきたが、誌面の都合上、どのような理由や経緯でその仕事に就いたのか、その仕事のやりがいなどの詳細まで紹介できていなかった。そこで今回、CE図鑑の拡大版として、CE図鑑に登場してきた

特徴ある仕事に携わる臨床工学技士を中心に、その詳細を執筆いただいた。

今回紹介するのは、海外の病院で働く、フリーランスで働く、養成校の教員として働く、研究者として働く、行政関係で働く、メーカーのマーケティング部門や医療機器開発部門で働く、メディアで働く、クリニックの経営者として働く、大学病院で医療安全を中心に働く、そして、起業して医療業界の課題に挑む臨床工学技士の皆様である。紹介いただいた内容は、それぞれ仕事の詳細、その道を選んだ理由、その仕事に就く方法、その仕事のメリットと注意すべき点、その仕事のやりがいと今後の展望、そして、その仕事を目指す読者へのアドバイスなどである。

本企画が、今とは異なる仕事にチャレンジしたいと考えている臨床工学技士や、養成校で臨床工学技士を目指している学生諸君の将来の視野を広げ、道しるべとなれば幸いである。